

現場ニーズにマッチする『新たな技術』を募集

国土交通省四国地方整備局では、「新たな技術(新技術)の発掘」や「企業間連携」を促進し、新技術の開発促進・普及拡大を図ることを目的に、**現場ニーズ**(工事現場などでの問題・課題)と**技術シーズ**(企業等が持つ独自の技術力やアイデア)をマッチングさせる取り組みを行っています。



四国地域の建設現場では、
『地理的特性(急峻な地形、災害の激甚化)』
『労働環境の変化(人口減少、高齢化等)』
『建設工事の多様化等』により、多くの現場
ニーズがあります。

現場ニーズは、裏面をご覧ください。

様々な分野の産学官の連携、IoT・人工知能(AI)などの革
新的な技術の現場導入や3次元データの活用などにより、
生産性が高く魅力的な新しい建設現場の創出を促進します。

現場ニーズ・技術シーズのマッチングの流れ



応募要領

詳しくは、<http://www.skr.mlit.go.jp/kikaku/iconstruction/index.html> から
応募要領資料をダウンロードしてご確認ください。

■募集期間： 令和4年7月28日(木)～ 令和5年2月28日(火)

第1回締切日 令和4年 8月22日(月)

第2回締切日 令和4年 10月20日(木)

第3回締切日 令和5年 2月28日(火)

■応募技術の条件等

- ・応募技術は、新技術情報提供システム(以下「NETIS」という。)に登録されていない技術であること。
なお、以前登録されていた技術も対象外とします。
ただし、NETISに登録されている技術であっても、NETISに登録されている技術を新たに改良することにより、マッチングする可能性があるものについては、対象技術とします。
(※詳細は、公募要領をご参照ください。)

■応募資格等

- 応募資格者は、以下の条件を満足するもの。
- ・応募者自らが応募技術の開発を実施した「個人」又は「民間企業」。
 - ・応募技術を基にした業務を実施する上で必要な権利及び能力を有する「個人」又は「民間企業」。
 - ・応募資料の作成及び提出に要する費用、現地試行を実施する費用、並びに、現地試行以外にニーズを解決するための試験・調査等に係る費用を負担できるもの。(応募等に要する費用は、応募者の負担です。)

■応募方法： 応募資料を上記URLよりダウンロード、必要事項を記載のうえ、下記にMailで送付。

※10MBを超える場合は、電子媒体(CD-R等)または紙を郵送により提出。

Mail提出先・郵送先 下記のお問い合わせ先と同一

■お問い合わせ先 国土交通省 四国地方整備局 企画部 施工企画課 ニーズ・シーズマッチング担当
TEL：087-811-8312 E-mail：icon-s88ok@mlit.go.jp 香川県高松市サンポート3番33号

■現場ニーズの一覧表

下記のニーズにマッチする新たな技術を募集しています。

No.	大分類	小分類	現場ニーズの名称
1			発災直後に自動で道路、河川、海岸などの状況が把握可能な技術
2		現地状況の把握	UAVを用いた空撮等により状況把握を行うとともに、災害復旧計画(災害復旧工事の設計、工程計画など)が作成可能な技術
3		災害対応	簡易かつ安価に機械設備(排水機場、水門稼働など)の状態監視が行える技術
4			平常時の状態を画像にて記憶させておき、臨時点検時に車両搭載のカメラから取得した画像との比較により異常の有無が判断できる技術
5		避難施設	発災時の避難の迅速化を支援する仮設設備
6		仮設施設	河川水流に影響を与えず、かつ簡単に仮橋を架設できる技術(ユニット化など)
7	現場状況の把握		樹木等の地上障害物を回遊した3D測量技術
8		現場作業支援	高齢に伴う心身機能の低下を補う技術
9		安全対策	炎天下においても快適に作業ができる作業服・ヘルメット
10			設計図面データを取り込むだけで、3次元設計・計画データが作成できる技術
11		現場管理支援	構造物をデジタルカメラ等で撮影し、その画像を取り込むことで、現地にて瞬時に出来形確認及び記録、並びに出来形検測・出来形図面作成が自動で出来る技術
12	現場作業支援		AIによる完成図書の自動作成技術
13		ロボット、AI	作業負担の軽減及び熟練工の技術の代替えとなるAI搭載ロボット技術
14		ICT技術を用いたアンカー打設	ICT技術を用いたアンカー打設(位置の計測、打設方向及び角度調整の自動化)
15		土質試験の効率化	建設発生土等の流用土を盛土材に用いる際の土質試験及び締固め試験の結果が現地で簡易且つ迅速に確認できる技術
16			AI技術を活用したボーリングコアの地質判定
17		現場情報の共有	道路管理及び発災時の現場確認を、機械化(GPSを用いた自動UAV等)し、発注者と受注者が同時に情報共有出来る技術
18		道路巡回	自動車専用道路区間の巡回において、本線部又はランプ部の走行時に両方の巡回情報が取得可能な機器
19		トンネル点検	トンネルにおける打音点検を自動で行える技術
20	道路管理		道路付属物における取付部の点検を漏れなく確実に行える技術
21		橋梁点検、診断	PC橋梁のPCシースの健全性を足場不要かつ非破壊で診断できる技術
22		道路除草	路面清掃に併せて路肩部の除草が可能な路面清掃車
23		雪氷対応	CCTVで取得した画像の解析による路面の状況把握(乾燥、湿潤、積雪、凍結等)及び、路面状況のアナウンスが自動でできる技術
24			路面の維持補修時に影響しない手段により路面温度を上昇させる降雪対策技術
25	道路管理 河川管理		道路土工構造物及び堤防等河川管理施設のうち、特に土工部の定期点検において変状(小崩落、はらみだし、亀裂など)が容易に把握できる技術
26	現場管理	安全対策	交通規制(規制帯の設置～交通誘導)の全自動化技術
27			ブリーディングの発生が極めて少ない冬期用コンクリート
28	新技術・新工法		コンクリート工事において動力・電力を使用せず簡易に冬の初期凍害を防止できる技術
29		型枠工	現場での型枠加工組立の簡略化(加工済み型枠、加工詳細図、組立要領等の作成)
30		浚渫	濁りを出さず浚渫するとともに河床泥土の盛土材への転用技術
31	その他		携帯電話を山奥で簡単に通信できるようにする補助装置機械

※ニーズの詳しい情報は、

公募要領資料 (<http://www.skr.mlit.go.jp/kikaku/iconstruction/index.html>) からダウンロード) をご確認ください。